

嘉瀬川防災ステーション 佐賀市水防センターについて

平成22年12月15日
国土交通省筑後川河川事務所
佐賀市総務部消防防災課

1. はじめに

佐賀市の紹介

佐賀市は、平成17年10月に佐賀市、諸富町、大和町、富士町及び三瀬村が合併して誕生しました。さらに、平成19年10月には、川副町、東与賀町及び久保田町と合併しています。

佐賀市は、北は脊振山系を境に福岡市と隣接し、南は有明海に面しており、山から海まで豊かな自然環境に恵まれています。また、秋には、風物詩となっているバルーンフェスタが開催されます。

面積 431.42km²

人口 236,357人(平成22年9月末現在)



佐賀市

福岡



バルーンフェスタ

嘉瀬川の概要

嘉瀬川は、佐賀市三瀬村脊振山系を源に、佐賀平野を南流して、有明海に注ぐ、幹川流路延長57km、流域面積368km²の一級河川です。

また、嘉瀬川は、古くから流域の治水、利水、環境上重要な河川ですが、中流部では周囲より川底が高い天井川となっているため、ひとたび堤防が破堤した場合、その被害は甚大なものとなります。

急峻な山地と広大な低平地が広がる



主な洪水の記録

■昭和24年8月台風

浸水家屋25, 552戸、堤防決壊78箇所

■昭和28年6月豪雨

浸水家屋 31, 032戸

1日最大雨量366. 5mm、1時間最大雨量72. 3mm

* 嘉瀬川左岸堤防(現在の佐賀市鍋島町)が決壊

■昭和38年6月豪雨

全壊29戸、流出家屋8戸、浸水家屋1, 274戸

■平成2年7月豪雨

浸水家屋14, 110戸、農地冠水2, 413ha

昭和28年水害の写真



平成2年水害の写真



2. 嘉瀬川防災ステーション

河川防災ステーションについて

- 河川防災ステーション(以下、「防災ステーション」という)は、洪水などで堤防が破堤した場合に備え、水防資材(土砂、根固めブロックなど)を備蓄するために、国が整備する施設です。
- 災害が発生した場合、防災ステーションは、迅速な復旧を行うための活動拠点となります。
- 防災ステーションの整備に併せて、市町村等が水防活動を円滑に行う拠点として、「水防センター」を整備することが望ましいとされています。
- 「嘉瀬川防災ステーション」は、九州内では8箇所目、佐賀県内では初の防災ステーションです。

九州内の防災ステーション

	名称	河川名	整備主体	完成年度
①	川内川栗野防災ステーション	川内川	川内川河川事務所	平成10年度
②	大野川高田地区防災ステーション	大野川	大分河川国道事務所	平成11年度
③	肝属川打馬地区防災ステーション	肝属川	大隈河川国道事務所	平成12年度
④	宇土市防災ステーション	緑川	熊本河川国道事務所	平成12年度
⑤	久留米西部河川防災ステーション	筑後川	筑後川河川事務所	平成14年度
⑥	遠賀川飯塚地区防災ステーション	遠賀川	遠賀川河川事務所	平成14年度
⑦	熊本市小島河川防災ステーション	白川	熊本河川国道事務所	平成15年度
⑧	嘉瀬川防災ステーション	嘉瀬川	筑後川河川事務所	平成21年度

嘉瀬川防災ステーション概要

- ・敷地面積
約16,000m²
- ・備蓄資材
土砂 約18,000m³
碎石 約500m³
その他 水防資材

嘉瀬川



土砂備蓄場
(多目的広場)

佐賀市
水防センター

駐車場

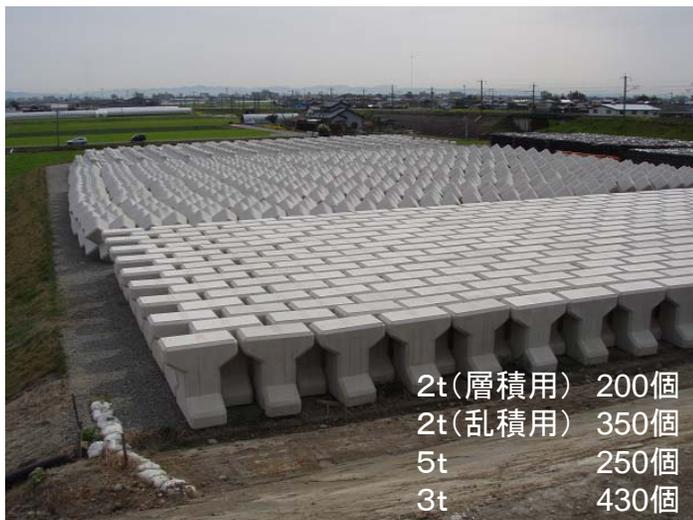
水防活動スペース

資材備蓄スペース

ヘリポート



備蓄資材等



根固めブロック



シェルトン



土砂(平常時は多目的広場として使用)



防災ステーションからの搬出



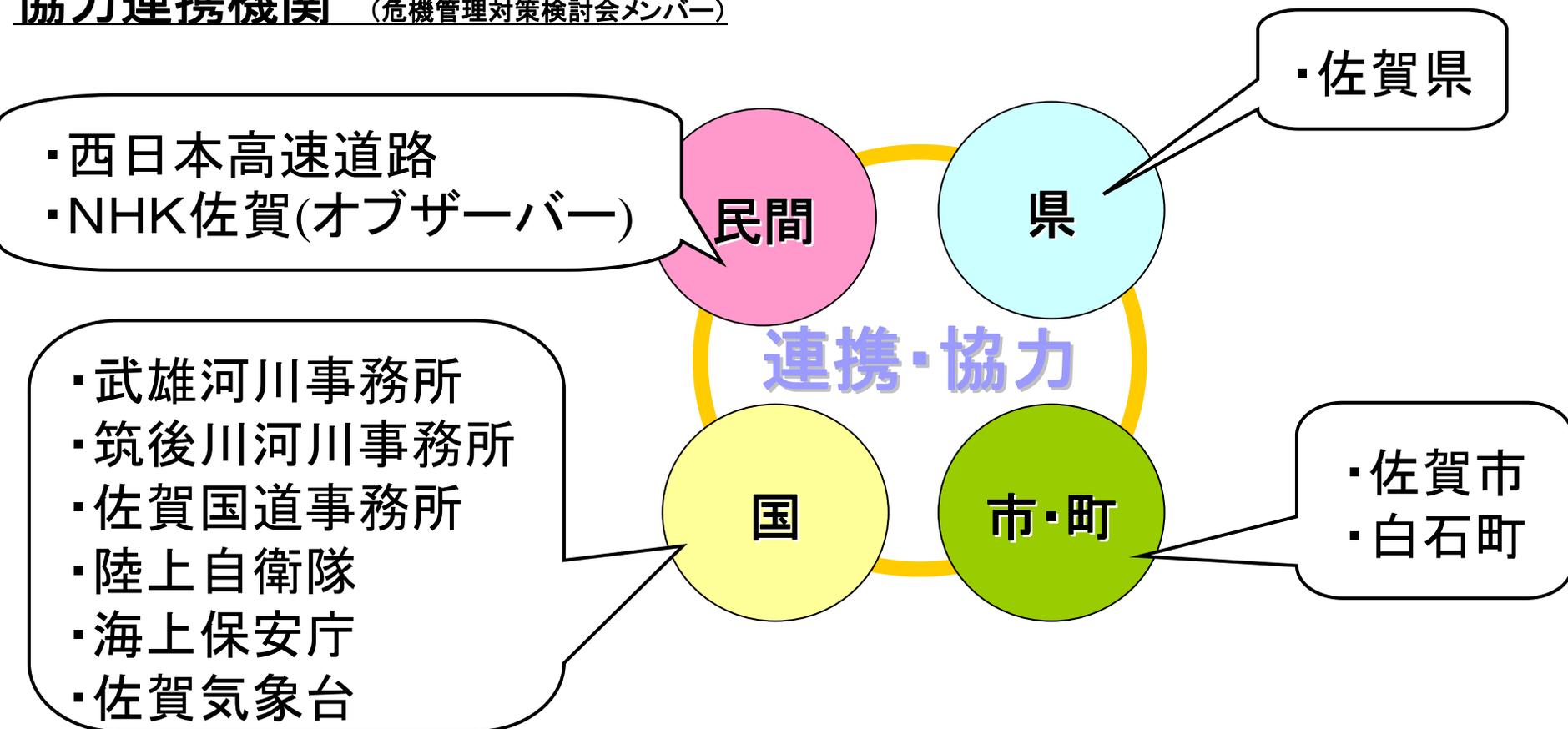
災害箇所の緊急復旧

平成22年7月の出水では、晴気川(県管理)の緊急復旧に使用

佐賀平野大規模浸水危機管理計画 (平成19年5月策定)

- 佐賀平野における大規模浸水時の被害最小化を目的として、各機関が連携して取り組む対策等を取りまとめたもので、当計画に嘉瀬川防災ステーションが位置づけられています。

協力連携機関 (危機管理対策検討会メンバー)



嘉瀬川防災ステーション利活用検討会の実施

- 災害時の効果的な緊急復旧活動や通常時の有効的な利活用の両目的を達成するため、ステーションの施設や利用方法等について、住民や学識者を交えて検討しています。



平成20年度利活用検討会状況

- 平成20年10月17日
第1回嘉瀬川防災ステーション利活用検討会
- 平成20年11月28日
第2回嘉瀬川防災ステーション利活用検討会
- 平成21年1月28日
第3回嘉瀬川防災ステーション利活用検討会

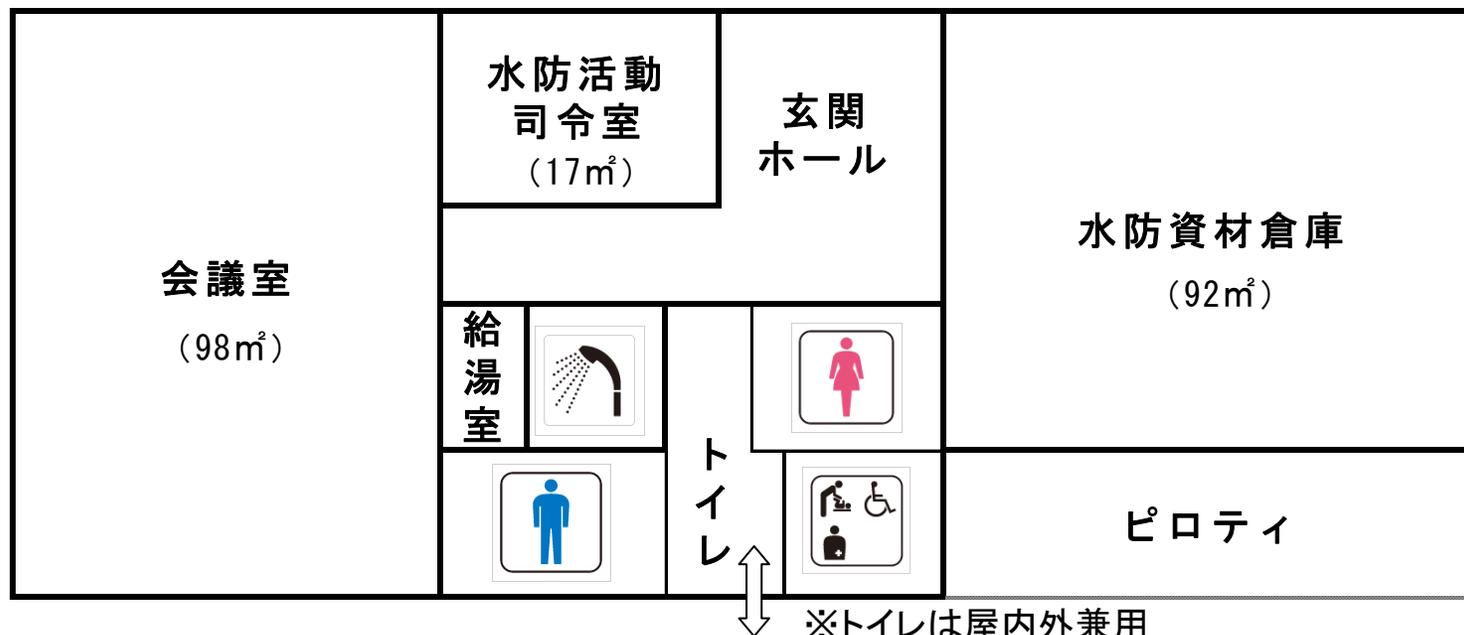
3. 佐賀市水防センター

施設概要

- 名称 佐賀市水防センター
- 所在 佐賀市嘉瀬町大字荻野地先
- 構造 軽量鉄骨造平屋建て
- 面積 312.53㎡(延床面積)
- 工事費 42,745千円
- 運用開始 平成22年4月～



施設レイアウト



設 備	内 容
水防資材倉庫	水防活動用資材（土のう袋、スコップ、木杭、掛矢など）
水防活動司令室	電話、FAX、パソコン
会議室	水防団の会議や休憩室として利用できるスペース
その他の設備	玄関ホール、トイレ、シャワー室、給湯室など

災害時の利用について

- 災害時には、現地対策本部機能や水防活動の長期化に備えた機能、また水防活動に必要な情報収集が可能な機能などを有する施設として、市や消防団などが水防活動を円滑に行うことができるよう利用します。



平常時の利用について

- 施設の維持管理及び開放業務は、地元の管理団体に委託し、以下のような用途でも利活用しています。
 - ・水防、防災の学習の場
 - ・地域のイベント
 - ・バルーン関連イベント
- 利用方法
 - ・申込方法 FAX等による事前申し込み
 - ・利用時間 10:00～17:00
 - ・利用できない日
災害時、市で使用するとき、水曜日、年末年始

平常時の利活用(防災訓練など)



佐賀市消防団水防訓練



佐賀市消防団水防訓練



佐賀平野大規模浸水危機管理対策演習(DIG)



嘉瀬校区防災訓練

平常時の利活用(地域のイベントなど)



佐賀インターナショナルバルーンフェスタ



グラウンドゴルフ



嘉瀬町かかし祭り